

春なのにモミジがやって来た!

金沢動物園にコアラが仲間入り!

4月17日(土)より一般公開!



金沢動物園に新しい仲間が増えました。神戸市立王子動物園からやって来たコアラの「モミジ」です。「モミジ」は平成18年5月生まれの3歳のメスです。

金沢動物園には昨年生まれたメス「テル(1歳)」と、オスの「ライタ(7歳)」、「パイン(9歳)」の3頭がいます。

「モミジ」は今回、「パイン」との繁殖を目指し、来園しました。国内のコアラの飼育頭数は、ここ数年減少しています。他の動物園とも積極的に協力し、繁殖適齢期の個体を移動するなどして計画的な繁殖に取り組んでいます。「モミジ」も金沢動物園の環境に慣れた頃、繁殖に向けての準備を進めていく予定です。

「モミジ」は、王子動物園ではユーカリを好き嫌いなく食べるマイペースなコアラで、人気者でした。横浜の皆様にもきっと、かわいがっていたでしょう。

新しい仲間をよろしくお願ひします。



新しく仲間入りした「モミジ」

- 金沢動物園の所在地
横浜市金沢区釜利谷東5-15-1
TEL: 783-9101 FAX: 782-9972
URL: <http://www.kanazawa-zoo.org/>

○ 交通のご案内

《電車・バスご利用の方》京浜急行「金沢文庫駅」西口から京急バス「野村住宅センター行き」約12分「夏山坂上」下車徒歩6分。土日祝日は同バス乗り場より京急バス「〈急行〉金沢動物園行き(愛称: ZOOバス)」約10分「(終点)金沢動物園」下車すぐ。《お車ご利用の方》横浜横須賀道路釜利谷ジャンクションから金沢支線に進み専用ゲートで降りると直接高速側駐車場に入れます。または、笹下釜利谷道路より一般道路用駐車場(正面口駐車場)に入れます。

※取材される場合は恐れいりますが、管理事務所管理係(夏山口側)にお立ち寄りの上、その旨をお伝えください。

※画像データが必要な場合は、ご連絡ください。

※裏面参考資料もご覧ください。

【参考資料】

1 コアラについて

和名：コアラ

学名：*Phascolarctos cinereus* 英名：Koala

分類：有袋目コアラ科

分布：オーストラリア大陸東部（クィーンズランド州南東部からニューサウスウェールズ州東部、ビクトリア州から南オーストラリア州南東部に分布）。標高600m以下のユーカリ林に生息。

生態：食性はきわめて特異的で、数十種類のユーカリに限られる。繁殖期を除き、社会的行動はほとんど見られない。隣り合ったもの同士は相手の存在を認識しているのに、相互作用はほとんどなく、社会的な群れは形成されない。樹上で単独生活をする。

形態：分布域の南部のものは大型で、体長は約80cm、体重約15kgにもなり、北部のものは小型で、体長65cm、体重約7kg。体毛は灰色から黄褐色。あご・胸・四肢の内側は白色、鼻鏡（びきょう：鼻先の毛のない部分）は大きくて裸出する。メスには、後方に開放する育児嚢（いくじのう：お腹にある袋）がある。当園のコアラは北方系。

妊娠期間：34～36日。出生時の体長は約2cmで、体重は約1gと非常に未熟な状態で生まれるため、生後半年は母親の育児嚢で過ごす。

パップ：赤ちゃんは生後6か月ごろから、母親の未消化便（パップと呼ばれる）を時々食べるようになる。パップにはユーカリの消化を助けるバクテリアが含まれている。

寿命：約10～13年

野生状況：40～50万頭とされているが詳細は不明。保護団体によっては数万頭という報告もあるが、数十万頭の存在は確実とされる。

国内飼育頭数：北方系41頭、南方系10頭の計51頭（平成21年12月31日調査）

2 金沢動物園での飼育状況

昭和61年 オーストラリアのローンパインコアラサンクチュアリよりオス2頭入園。

昭和62年 上記園より4月と7月にメスが2頭ずつ入園。

4月にバルダが入園、横浜初の子供を出産。以後順調に繁殖を重ね、現在に至る。

現在の飼育頭数 オス2頭（愛称：パイン、ライタ）、メス頭（愛称：テル） 合計3頭

★「モミジ」プロフィール

平成18年 5月29日 多摩動物公園うまれ（3歳）

父親 モミジ（所有：王子動物園） 母親 ミリー（所有：多摩動物公園）

平成19年12月12日 多摩動物公園より王子動物園へ移動

平成22年 3月30日 金沢動物園に1年間の繁殖契約により入園

※発情・オスとの同居経験はあるものの、交尾には至っていない。